

2020  
年度

なるほど!

わかった!

# 戸田市のおさいふ

おさいふの  
中身を  
一緒に見てみよう!



戸市の財政案内人  
おさいふくん

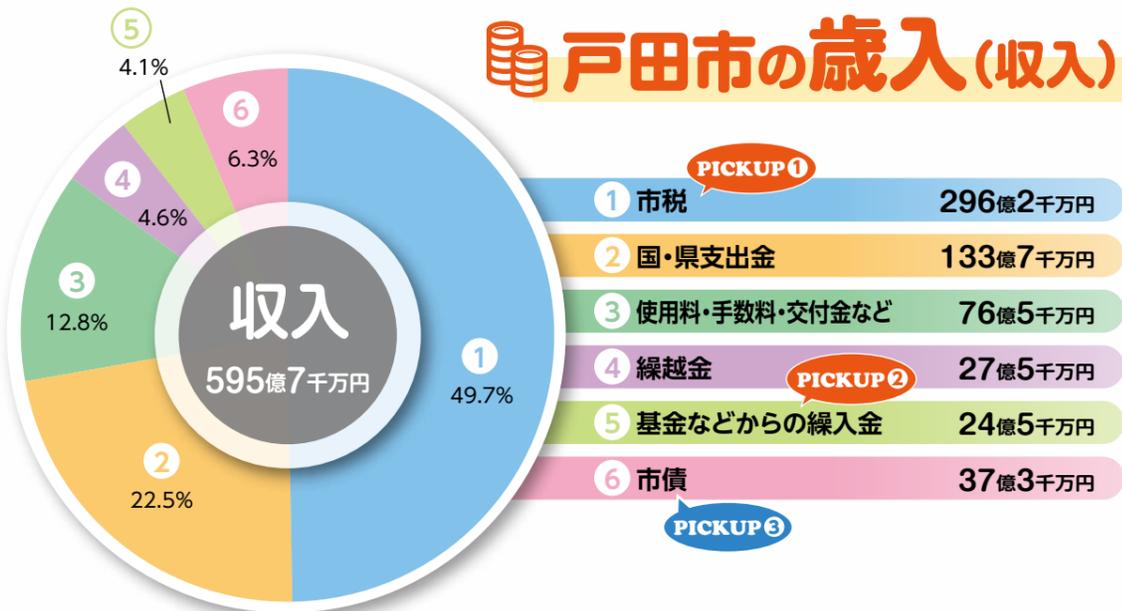




# おさいふの中身を見てみよう

(2019年度 普通会計決算)

## 戸田市の歳入(収入)



### PICK UP ① 市税は最も重要な財源

市税は、歳入の約5割を占めています。市の発展のために欠かすことのできない、最も重要な財源です。市税には、次のようなものがあります。



### PICK UP ② 安定して事業を行うために基金(貯金)を活用

家計でも貯金があるように、市の貯金にあたるものが「基金」です。基金があることで、継続的に事業を進めることが出来るほか、突発的な支出や経済状況の悪化等にも対応することができます。

●主な基金の推移



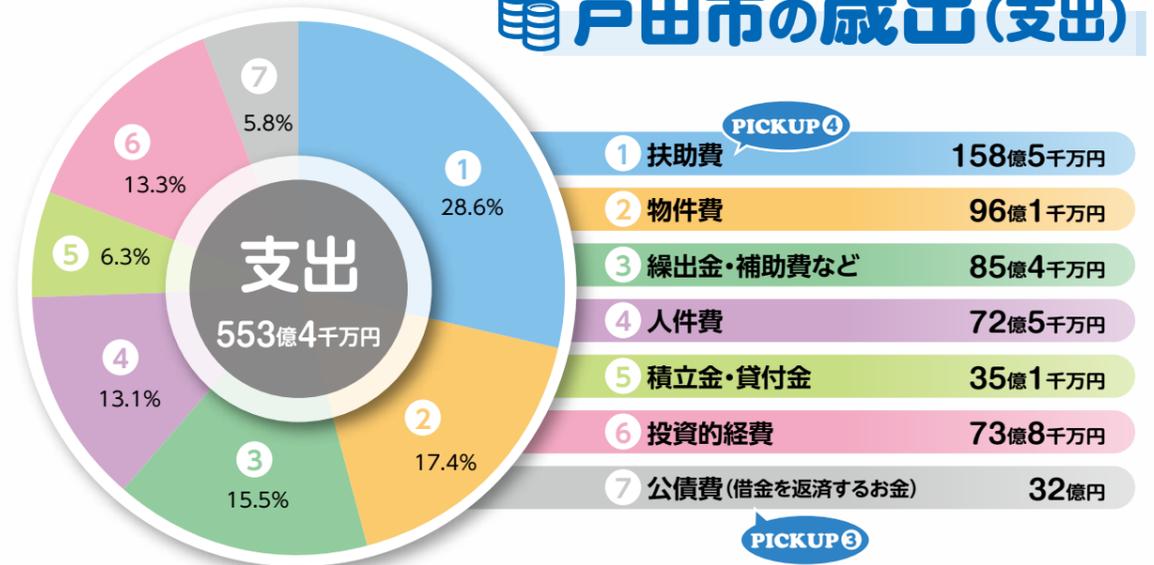
みなさんのご家庭でも家計という「おさいふ」があり、お給料などの「収入」のなかで計画的に食費などの「支出」をやりくりして、生活をしていますよね。

戸田市の「おさいふ」でも同じように、市税などの「歳入(収入)」のなかで、様々な「歳出(支出)」をして、市民生活が滞りなくまわるよう、計画的にやりくりをしています。2019年度の「歳入」と「歳出」を詳しく見てみましょう。



(2019年度 普通会計決算)

## 戸田市の歳出(支出)



### PICK UP ③ 市債の活用と公債費

主に公共施設の整備など、多額の費用がかかる事業を行う際には借金をします。市が借りるお金を「市債」、その返済に充てるお金を「公債費」といいます。

Q. どうして借金をするの?

市民の負担を将来にわたり公平にするため



公共施設は長く使うものだから、施設を使う次の世代の市民にも公平に負担してもらおうだ。

### PICK UP ④ 扶助費は私たちの生活を支える基礎

歳出の約3割を占める扶助費とは、社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などに対して行う支援のための経費です。近年、扶助費は増加傾向にあり、戸田市では、10年間で約2.1倍に増加しています。

●扶助費の比較



## 保育園

市の負担 約**24.7**億円

市民1人あたり **17,573**円

保育が必要な子どもたちが保育園へ通うことができるよう、保育園の施設や体制の整備を行っています。保育園の運営費は、保護者から支払っていただく保育料の他、国、県、市の補助によってまかなわれています。戸田市には2020年4月1日現在、公立保育園と民間保育園、小規模保育施設など、合わせて57の認可保育施設があります。



## 学校給食

市の負担 約**7.1**億円

市民1人あたり **5,091**円

小学校12校と中学校6校の約12,000人に安心、安全でおいしい給食を提供しています。その費用の約4割は材料費として保護者から納めていただく給食費によってまかなわれています。



## 健康増進

市の負担 約**1.4**億円

市民1人あたり **1,015**円

各種検診、埼玉県コバトン健康マイレージ事業、健康教室など、さまざまな健康増進事業を行っています。その一つとして、胃がん、大腸がん、乳がんなどの予防及び早期発見のため、がん検診の検診費用を助成しています。



## 防災事業

市の負担 約**1.4**億円

市民1人あたり **1,049**円

市では、災害に備え、防災備蓄品の購入や資器材の整備を行っています。台風や豪雨などの災害に備え、現在市内19か所に設置された土のうステーションもその一つです。また、地域防災力の向上を目指し、防災訓練を実施する他、自主防災会やマンション、事業所が防災資器材を購入する際にその費用の一部を補助しています。



2019年度

# どんなことに いくら かかったのかな？

市の負担 2019年度決算のうち、**一般財源負担額**  
(※国県補助金や使用料、分担金を除いた純粋な市の負担)

市民1人あたり **140,645**円で計算  
(2020年3月31日現在の人口)

## 公園の維持管理

市の負担 約**5.9**億円

市民1人あたり **4,234**円

市内にある約159か所の公園や緑地を安全に利用していただけるように、設備の点検や清掃などに取り組んでいます。2018年7月には荒川水循環センター上部公園がオープンしました。広々とした多目的広場やアスレチック広場、パークゴルフ場があり、子どもから大人までが楽しめる、憩いの場となっています。



## コミュニティバス toco

市の負担 約**1**億円

市民1人あたり **736**円

2001年に運行を開始して以来、身近な交通手段として市民の皆さんに親しまれています。現在は、市内を5路線のコミュニティバスが循環しています。料金は1回100円。市では、バス事業者に行経費の一部を補助することで支えています。



## 図書館・郷土博物館

市の負担 約**3.5**億円

市民1人あたり **2,553**円

図書館には、中央図書館、上戸田分館、下戸田・美笹・下戸田南の3分室及び戸田公園駅前配本所の6か所のサービス拠点があります。一般書や児童書など約40万冊の蔵書があり、子どもから大人まで市民の学びの場となっています。中央図書館・郷土博物館は、施設の長寿命化を図ることを目的として、施設全体の電気・空調設備工事などを行い、リニューアルオープンしました。



## 防犯対策事業

市の負担 約**0.9**億円

市民1人あたり **643**円

市内の防犯パトロールや2か所の安全ステーションの設置など、市民生活の安心・安全を守る取り組みを行っています。その他、子どもの安全対策として不審者や事件事故多発地帯に設置する、見守り防犯カメラの整備にも使われています。





# 戸田市って お金持ちなの？

収入

固定費

新たなニーズに対応するために使えるお金

よく、戸田市は税収も多いしお金があると言われますが、実際はどのようなのでしょうか？

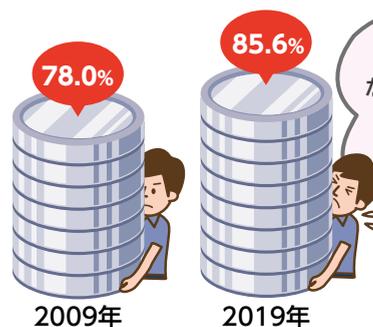
現在、戸田市では、社会保障費が増加しているなど、家計でいうところの「固定費」(例:家賃や食費、光熱水費、家や車のローンなど、生活していくうえで、継続的にかかるお金)が上がっていることが懸念されています。

市税などの毎年決まった収入のうち、固定費への支出が増えると、新たな行政サービスを行うために使えるお金が減ることになります。

## 固定費が増え続けるとどうなるの？

市税などの毎年決まった収入のうち、固定費(「**経常的経費**」といいます。)の支出が占める割合を「**経常収支比率**」といいます。戸田市の経常収支比率は、短期的には増減があるものの、長期的にみると、上昇傾向となっています。この経常収支比率が高ければ高いほど、新たなニーズに対応するためのお金(新規事業や公共施設の建替えなど)が少なくなってしまう。

経常収支比率の変化



年々自由に使えるお金がなくなってきているんだね...  
工夫をしてやりくり上手にならないとね



## 経常的経費って？

毎年度継続的に支出される経費のことです。人件費や扶助費、公債費などがあり、その中には、保育所の運営費や医療費の助成のように、途中でやめるのが難しいものや、市の単独事業として続いている状態のものがあります。

## 経常収支比率って？

市税など毎年度継続的に収入があり、かつ、使い道が特定されていない財源のうち、どれくらい経常的経費が占めているかを示す指標で、以下の計算式から求められます。比率が高いほど、新たな行政サービスの実施に対応する余裕がないことを表します。

市で負担した支出のうち経常的なもの※

市自主財源のうち経常的なもの※

※臨時的に発生したものを除く

## 新たな行政ニーズに対応するために

新たな行政ニーズに対応するためには、財源が必要となります。しかし、その財源にも限りがあります。市では、公平性・公益性・有効性の観点から、現在実施している事業の見直しを進めています。

時代に合わなくなった事業や市が行うことの有効性が低下した事業を見直すことで、新たな行政サービスを提供するためのお金を確保し、多様なニーズに対応できるようになります。



# これからの公共施設のありかた

## ファシリティ・マネジメントの時代がやってきた



市内には多くの公共施設があるけど、古い建物もあるよね。老朽化した公共施設は、すべて新しく建て替えられるのかしら。



すべてを建て替えることはできない。莫大なお金がかかるからね。

これからは、公共施設を効果的かつ効率的に維持管理する「**ファシリティ・マネジメント**」の時代なんだよ。

どうということ？

ファシリティ・マネジメント？



最小の費用で最大の効果を出すために、**さまざまな工夫**が必要なんだ。

例えば…

計画的な修繕や日々の点検を行い、長く使えるようにする

長寿命化



有効活用

民間企業との連携

民間ノウハウや資金を活用して施設を整備・運営する

公

民

いろいろな方法があるのね。



限られた予算でやりくりしていくアイデアや工夫が必要なんだなあ。

例えば使われていない厨房スペースに…



コンビニを誘致して有効活用!!



今後も「ファシリティ・マネジメント」の考え方に基づいて公共施設を維持管理していくよ！数十年先の将来を見据えてね！



## 競艇配分金



戸田市の特色のひとつにボートレースがあります。ボートレース収益金の一部は競艇配分金として市に配分され、幅広い分野で市のために使われています。

活  
用  
例

喜沢南保育園改築

消防車両の整備事業

小・中学校屋内運動場空調設備設置



競艇配分金を活用して購入した備品などには、このようなステッカーを貼っているんだよ



## 防災減災基金

戸田市では2019年12月に、近年急増している災害対策に特化するための基金として、防災減災基金を設置しました。

この基金は、市民の安全を守るため、災害リスクの低減に向けた減災事業にも利用することができます。

活  
用  
例

小学校屋内運動場発電機

市民医療センター救護所機能の強化

防災基本条例の制定

ハザードマップの改訂



この防災・減災事業の資金に特化した基金を設置したのは、戸田市が埼玉県初になるんだよ!



発行 戸田市役所 財務部 財政課  
2020年12月

住所 〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1-18-1

電話 048-441-1800(内線415・416)

ホームページにアクセスしてね!

戸田市の財政

検索



※冊子内の金額は概数で表記しています。